MEMO

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部 TEL：0120-094-777（通話料無料）
公告の方法	当社は以下のURLで電子公告を行います。 http://www.shizuki.co.jp/ ※事故その他のやむを得ない事由により、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所　市場第二部
単元株式数	100株

ご注意

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

『指月（シヅキ）』社名の由来

『指月』の社名は、創業者山本重雄が長州（現在の山口県）の出身であること、また幕末長州藩の一代家老として藩政改革で功を成した村田清風が先祖にあたることから、毛利家歴代の居城である萩城（指月城）から名をお借りしたのが命名の由来です。

株式会社 指月電機製作所

本社 〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号
TEL：0798-74-5821　FAX：0798-73-0807
http://www.shizuki.co.jp

VEGETABLE OIL INK

株主通信

第92期 報告書

2019年4月1日～2020年3月31日

メッセージ

逆境を、チャンスに。
挑戦こそが
未来を生んでいく。

シヅキ

証券コード 6994／東証二部

株式会社 指月電機製作所

逆境を、チャンスに。挑戦こそが未来を生んでいく。

代表執行役社長
足達 信章

2019−2028年度
長期経営ビジョン
10年後の指月グループのあるべき姿

挑戦する社風へと変革し、
品質第一のモノづくりと、
未来を見据えた新技術・新商品の開発、
グローバルな事業展開の推進により、
社員の夢を実現し社会に貢献する
企業グループになる

中期経営計画

第Ⅰ期 2019〜2021年度 | 第Ⅱ期 2022〜2024年度 | 第Ⅲ期 2025〜2028年度

第Ⅰ期には、産業機器、自動車機器（xEV）、電力機器（力率・品質改善）、環境・省エネ機器の事業推進を重点施策として、10年後のあるべき姿、そして、100年企業に向けた経営基盤の確立に努めます。

<セグメント別売上高目標値（連結）>

全売上高目標値

	実績 2019年度	2020年度	2021年度
全売上高目標値	236.0億円	271.0億円	286.0億円
コンデンサ	158.7億円	196.1億円	205.7億円
電力機器	77.2億円	74.9億円	80.3億円

新中期経営計画の、第一歩。過去最高となる売上高を達成。

2019年度は、シヅキが新中期経営計画のもとで新たな一歩を踏み出した、最初の年となりました。私たちは2028年度を最終年とする長期経営ビジョンの実現に向けて、中期経営計画を3つの期に分けて展開し、一歩ずつ着実に、かつスピード感をもって前へ進もうとしています。

その礎となる第Ⅰ期では、産業機器、自動車機器（xEV）、電力機器（力率・品質改善）、環境・省エネ機器の事業推進を重点施策として、10年後のあるべき姿、そして、100年企業に向けた経営基盤の確立に努めています。

さらに、社員たちが自ら話し合いを重ねてつくり上げた長期経営ビジョンでは、「挑戦する社風への変革」という力強いメッセージが掲げられ、営業・設計・開発・製造が、これまで以上に一体となって「お客さま第一」のものづくりに取り組んできました。

こうした社員一人ひとりの努力と、関係者の皆さまの支えによって、第92期の業績は概ね目標値に達し、80年を越えるシヅキの歴史の中で、過去最高となる売上高を達成することができました。

日頃からご支援を賜る株主の皆さまに、この場を借りて、厚く御礼を申し上げます。

この逆境を、エネルギーマネジメントの新しい在り方を構築するチャンスに。

一方で、第4四半期からは新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界経済は閉塞感を強めています。第92期における影響は軽微でしたが、第93期では影響が本格化していくものと見込まれます。足もとでは自動車や東南アジアをはじめとする海外市場での影響が顕在化しており、さらに今後、インフラ分野への影響拡大リスクも見据えておく必要があると考えております。より一層のスピード感をもって需要の動向を見極め、急激な需給変化に慌てることなく、フレキシブルな対応をはかり、影響の極小化に努めてまいります。

また、このような逆境に置かれた時こそ、自分たちさえ良ければいいという考え方ではなく、「お客さま第一」「人間性尊重」の原点に立って、お客さまや関係各所との連携をより一層大切にしながら、一つひとつの意思決定が社内外にどのような影響を与えるのかを考え、行動を起こしていきたいと思います。

中長期的な視点で将来を見つめれば、私たちの事業基盤となっている「エネルギーマネジメント」へのニーズはさらに拡大すると考えます。より品質の良いエネルギーを、より効率的に、より快適に、より安心して使っていただくこと。私たちシヅキは、この局面を新しいエネルギーマネジメントの在り方を構築するチャンスと捉え、「挑戦」を重ねていきます。

全員が主役となって、新しい風を起こしていく。

社内公募制を立ち上げ、若手社員発のプロジェクトが始動。

2019年度は、シヅキの“10年後のあるべき姿”を長期経営ビジョンとして言語化し、私たちが「挑戦する社風への変革」に向けて歩みはじめた、最初の年でもあります。まだまだやるべきこと、できることは山積していますが、風向きが良い方に変わってきたという手応えを感じられる場面も生まれています。

そのひとつが、社員個人の自発的な行動です。社内公募制を立ち上げ、ふだんの職制を離れてチャレンジしたい課題を募ったところ、幾人もの若手社員が手を挙げてくれました。集まった課題やアイデアを社内で検討し、すでにこの春から動き出しているプロジェクトもあります。それぞれ、本人にとって挑戦度の高いテーマであり、大きな成長につながってくれることを期待しています。

協調性だけでなく、自発性を高めるための一体化を。

この1年間、組織の変革にも取り組み、開製販の一体化を進めてきました。これは単にチームとしての協調性を高めようという取り組みではなく、一人ひとりが培ってきた「知」と「知」がぶつかり合って、その融合の中から新たなブレイクスルーが生まれていくような、創造的かつ活発な組織をつくりたいと考えています。「この仕事は、自分の仕事です」「みんなの知恵と力を借りて、この仕事を何としてでもやり遂げたい」チームの誰に聞いても、そんな強い想いを語ってくれるような、全員主役のチームをつくっていけたらと思います。

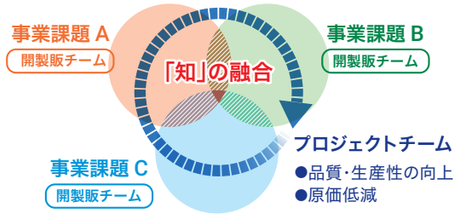
そこに加えて、各チームの活動をよりダイレクトにものづくりに反映できるように、製造技術を中心としたプロジェクトチームを新たに発足しました。それぞれの事業課題ごとに開製販のチームがあり、さらに製造技術プロジェクトチームがそれらを横串でサポートすることで、個々のチャレンジを強力に後押ししていきます。

めざすべき未来も、足もとの変化も見定め、アクションを起こしていく。

第93期は、中期経営計画第Ⅰ期の折り返し地点となる年であり、私たちにとってまさに「勝負」の年となります。はじめの1年で見えてきた、さまざまな課題や改善点に対して、アクションを本格化させ、変革のスピードを上げていく年となります。新型コロナウイルスによって世界経済は一変しました。状況は今も、刻一刻と変化しています。しかし私たちは、やみくもに慌てることも悲観することもなく、自分たちが将来あるべき姿を描き、その実現に向けて力強く歩んでいきたいと思います。大局を見据える目と、周囲を細やかに見わたし、今とるべき行動を判断する目。二つの視点を大切にしながら、全社員が一体となって、この苦境を乗り越えていきたいと考えています。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻のほどを、よろしくお願い申し上げます。

『挑戦する社風』への一歩
～全員主役の横断型組織へ～



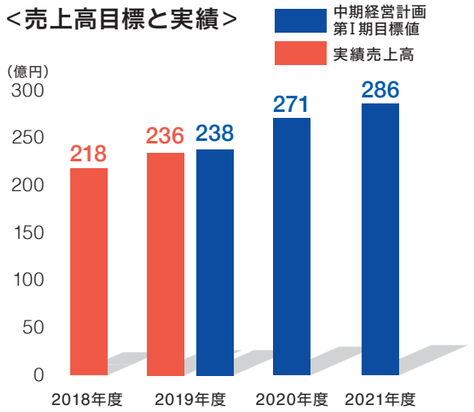
事業課題ごとに開製販をつなぐチームを編成。さらに、製造技術プロジェクトチームが横断的に挑戦を支え、新たなブレイクスルーを。

＜経営指標＞

	2018年度 実 績	中期経営計画 第Ⅰ期 2019年度 実績 ( )は目標値	2020年度 目標値	2021年度 目標値
売上高	217.6	236.0 (238.0)	271.0	286.0
営業利益	11.1	11.8 (12.4)	14.8	17.6
営業利益率(%)	5.1	5.0 (5.2)	5.5	6.2
親会社株主に帰属する当期純利益	7.0	7.0 (7.1)	10.0	11.3
当期純利益率(%)	3.2	3.0 (3.0)	3.7	4.0
ROA(%)＜総資産経常利益率＞	4.5	4.6 (4.9)	4.4	4.8
1株当たり当期純利益(円)	21.1	21.4 (21.5)	30.3	34.3

(億円)

＜売上高目標と実績＞



＜重点施策の売上高目標(連結)＞

コンデンサ

産業機器

2019年度 71.1億円 ▶ 2021年度 82.7億円

自動車機器(xEV)

2019年度 44.8億円 ▶ 2021年度 80.0億円

電力機器

電力機器(力率・品質改善)

2019年度 国内 61.5億円 海外 7.2億円 ▶ 2021年度 54.9億円 11.0億円

環境・省エネ機器

2019年度 4.3億円 ▶ 2021年度 8.0億円

※P02、P04に記載している2020年度、2021年度の数値は、2019年5月に発表したものであり、今後の見通しについては、新型コロナウイルス感染症拡大による経営業績への影響が見込まれるため、現時点では未定としております。現在、情報を収集・分析中であり、早急に影響額を見極め、速やかに開示する予定です。

電力障害から、くらしを守る！「アクティブフィルタ」を日本各地へ

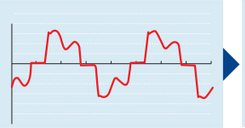
私たちの社会を休むことなく動かしつづける「電力」。その電力をより効率的に、より便利に使うために、パワーエレクトロニクス技術が進歩してきました。そのひとつが、さまざまな装置や家電機器に搭載されているインバータです。

インバータは装置や機器を高度に制御し、省エネを実現しますが、一方で、「高調波」という“電気のひずみ＝ノイズ”を発生させます。このノイズは、電線の中の電気にも入ってしまい、家庭やオフィスにある機器に、誤動作や寿命の低下、照明のちらつきなどの障害を及ぼしてしまいます。「アクティブフィルタ」は、インバータから発生した高調波に対して“逆”の補償電流を流すことで、その波を打ち消します。「アクティブ」という名前のとおり、自ら能動的に高調波へと働きかけ、安定した電気の供給を支えています。

～アクティブフィルタの納入実績～

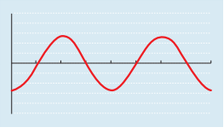
シヅキのアクティブフィルタは、日立造船株式会社のほか多くの企業にご採用頂き、日本各地の工場や病院、学校をはじめ、汚泥再生処理センターや水処理施設、ごみ処理場などに設置されています。

アクティブフィルタ設置前



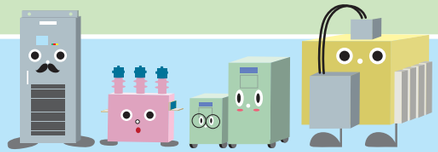
高調波の影響があると、電気は乱れます。

アクティブフィルタ設置後



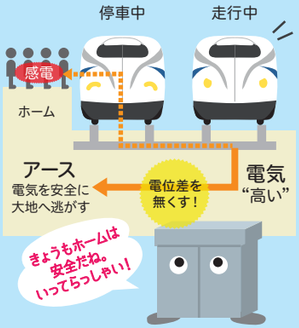
アクティブフィルタを設置し、高調波対策を行うと電気は滑らかになります。

教えて！デンリョくん

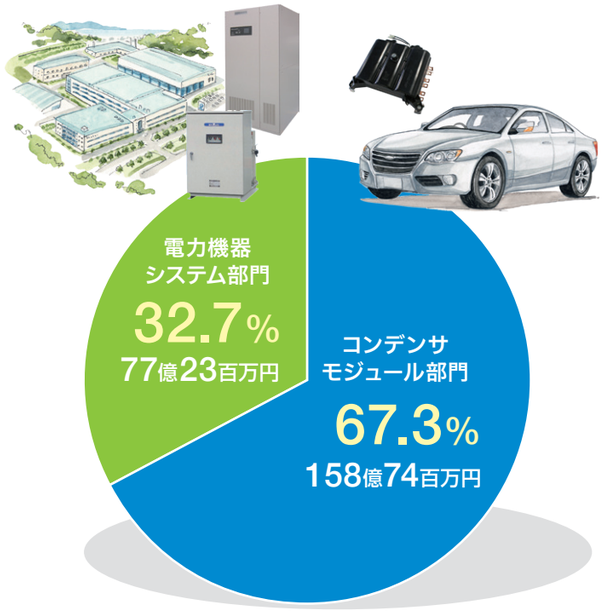


たくさんの電気を使って走る新幹線。どうして人に、感電しないの？

「レール電位抑制装置」って、聞いたことあるかい。新幹線のホームにいる乗客のみんなを守るための装置なんだ。もしも、この装置が無かったら、みんな感電してしまうことに……。でも安心して！ボクの仲間たちがしっかり安全を守ってるから。ホームに停車している新幹線には、電気は流れていないけど、その横を通過電車が走ると、レールを伝って電気が流れ、ホームにまで電気が流れてきてしまう。電気は高い所から低い所に流れるからね。この電気の大きさの差（電位差）を無くし、流れないようにするのが、レール電位抑制装置の役目なんだ。



部門別売上高比率（2020年3月）



連結売上高

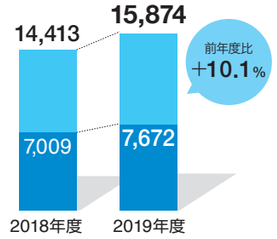
235億97百万円

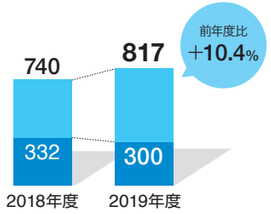
※セグメント別の営業利益については、調整額△1,759百万円があります。
（セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用）

コンデンサ・モジュール部門

EV・HEV用フィルムコンデンサが好調に推移しました。結果、売上高は158億74百万円（前年度比10.1%増加）となりました。

売上高	営業利益
158億74百万円	8億17百万円



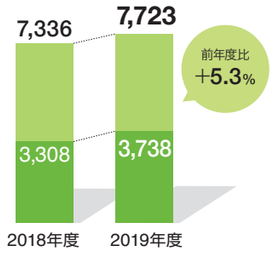


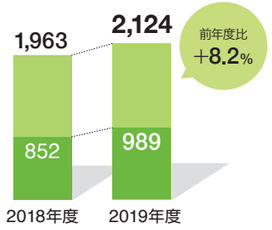
■上期 ■下期 ［単位：百万円］

電力機器システム部門

力率改善装置、瞬低補償装置が堅調に推移しました。結果、売上高は77億23百万円（前年度比5.3%増加）となりました。

売上高	営業利益
77億23百万円	21億24百万円

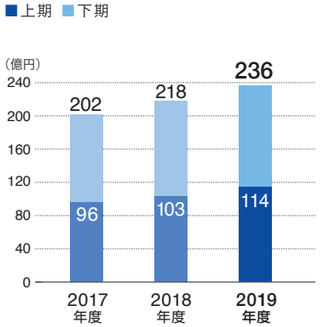




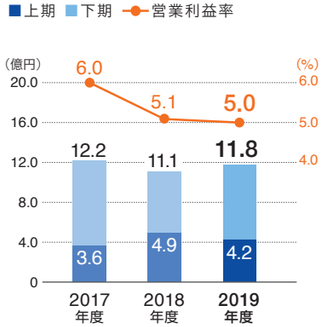
■上期 ■下期 ［単位：百万円］

財務ハイライト

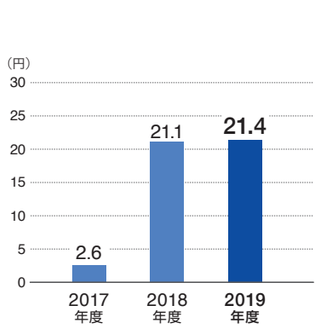
売上高



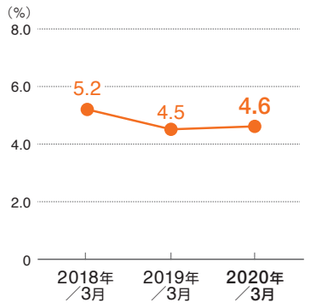
営業利益・営業利益率



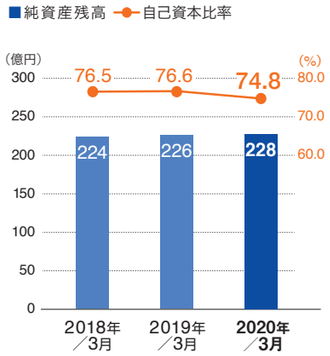
1株当たり利益(EPS)



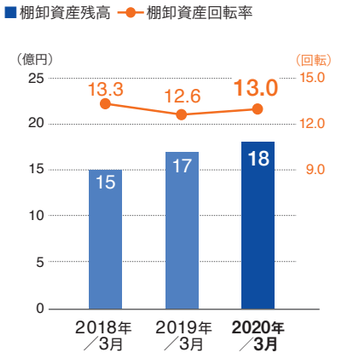
総資産経常利益率(ROA)



純資産残高・自己資本比率



棚卸資産残高・棚卸資産回転率



POINT

各事業の売上拡大を図り、計画達成に向けて取り組んだ結果、売上高は、コンデンサ・モジュール、電力機器システムともに増加、前年度比8.4%の増収となり、過去最高の売上高を記録することができました。損益については、主に自動車機器事業への投資が継続していることもあり、概ね期初計画通りの結果となりました。

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	第91期 期末 2019年3月31日現在	第92期 期末 2020年3月31日現在
資産の部		
流動資産	14,893	**14,986**
現金及び預金	4,789	**4,707**
売上債権	8,321	**8,409**
棚卸資産	1,723	**1,809**
その他資産	58	**59**
有形固定資産	12,194	**12,979**
無形固定資産	103	**245**
投資その他の資産	1,896	**1,808**
資産合計	29,087	**30,019**
負債の部		
流動負債	4,543	**5,331**
固定負債	1,933	**1,886**
負債合計	6,477	**7,218**
純資産の部		
株主資本	20,221	**20,563**
資本金	5,001	**5,001**
資本剰余金	4,276	**4,276**
利益剰余金	10,964	**11,306**
自己株式	△ 21	**△ 21**
その他の包括利益累計額	2,067	**1,904**
非支配株主持分	321	**333**
純資産合計	22,609	**22,801**
負債純資産合計	29,087	**30,019**

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	第91期 期末 2018年4月 1日から 2019年3月31日まで	第92期 期末 2019年4月 1日から 2020年3月31日まで
売上高	21,761	**23,597**
売上原価	16,177	**17,701**
売上総利益	5,583	**5,896**
販売費及び一般管理費	4,469	**4,713**
営業利益	1,114	**1,182**
営業外収益	435	**477**
営業外費用	247	**288**
経常利益	1,302	**1,371**
特別利益	100	**15**
特別損失	174	**156**
税金等調整前当期純利益	1,227	**1,230**
法人税、住民税及び事業税	453	**437**
法人税等調整額	40	**50**
当期純利益	734	**742**
非支配株主に帰属する当期純利益	37	**38**
親会社株主に帰属する当期純利益	696	**704**

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	第91期 期末 2018年4月 1日から 2019年3月31日まで	第92期 期末 2019年4月 1日から 2020年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	606	**1,580**
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,045	**△2,144**
財務活動によるキャッシュ・フロー	△375	**525**
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	**△43**
現金及び現金同等物の増減額	△1,804	**△81**
現金及び現金同等物の期首残高	6,594	**4,789**
現金及び現金同等物の期末残高	4,789	**4,707**

(注)十万円の位を切り捨てて表示しております。

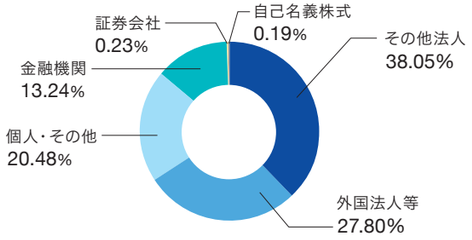
株式の状況

2020年3月31日現在

株式の状況

発行可能株式総数	128,503,000株
発行済株式総数	33,061,003株
株主数	3,269名

所有者別株式数分布状況



大株主（上位10名）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
三菱電機株式会社	6,980	21.2
株式会社村田製作所	4,471	13.5
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	4,172	12.6
NOMURA PB NOMINEES TK1 LIMITED	2,366	7.2
NPBN-SHOKORO LIMITED	1,522	4.6
株式会社りそな銀行	1,299	3.9
株式会社みなと銀行	925	2.8
指月協友持株会	893	2.7
MSIP CLIENT SECURITIES	551	1.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口9）	467	1.4

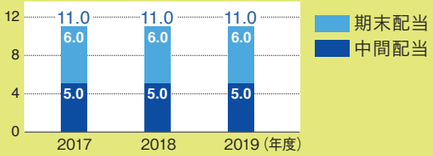
（注）持株比率は、自己株式（63,987株）を控除して計算しております。

株価の推移（円）

期末配当金 1株当たり 6円

- 期末配当金　1株当たり6円
- 支払対象者　2020年3月31日現在の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者
- 支払開始日　2020年6月12日

1株当たりの配当実績（単位:円）



会社概要

2020年3月31日現在

会社概要

商号	株式会社指月電機製作所
英文名称	SHIZUKI ELECTRIC COMPANY INC.
本社所在地	〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号 TEL:0798-74-5821
ホームページ	http://www.shizuki.co.jp/
創業年月日	1939年 3月10日
設立年月日	1947年 9月 1日
資本金	5,001,745,595円
グループ人員数	1,391名
主要取扱業務	■コンデンサ及び関連機器・装置の製造販売 ■電力機器・装置の製造販売
営業拠点	●東京支社 ●東京支店／関西支店／中部支店 ●仙台営業所／日立営業所 広島営業所／福岡営業所

役員

取締役

取締役会会長	伊藤　薫＊
取締役	足達　信章＊
取締役	友松　哲也＊
取締役	山本　則彦
取締役	森　公利※
取締役	谷　和義※
取締役	松尾　誠人※

＊は執行役を兼任　※は社外取締役

執行役

執行役会長	伊藤　薫
代表執行役社長	足達　信章
常務執行役	友松　哲也
執行役	小田　敦
執行役	小山　義雄
執行役	相原　宏則
執行役	大槻　正教

生産子会社

社名	資本金	出資比率(%)
九州指月株式会社（福岡県）	300,000千円	100.0
秋田指月株式会社（秋田県）	300,000千円	100.0
岡山指月株式会社（岡山県）	300,000千円	100.0

生産・販売子会社

社名	資本金	出資比率(%)
アメリカンシヅキ株式会社（米国 ネブラスカ州）	17,600千米ドル	100.0
タイ指月電機株式会社（タイ バンコク）	33,000千バーツ	70.0
指月獅子起（上海）貿易有限公司	250千米ドル	100.0

関連会社

社名	資本金	出資比率(%)
株式会社 村田指月FCソリューションズ	100,000千円	35.0